

留学生のための

キャリア支援ブック

留学生の皆さん、ようこそ千葉科学大学へ！

既に在席している皆さんも、順調に銚子での生活を送っていますか？

母国を遠く離れ、日本で頑張ろうとしている皆さんを我々教職員は尊敬していますし、できるだけの支援をしたいと考えています。

この小冊子は、留学生の皆さんが本学で大学生活を順調に過ごし、期待通りの勉学に励み、更には、特に日本で就職して今後のキャリアを培おうとする人のために、皆さんに業務や教科で密接に関わっている教職員により制作しました。

ほぼ毎年、留学生の皆さんに就職についてのアンケートを行っていますが、大学への要望として、就職に関する教育指導、情報提供、人脈支援、奨学金などをはじめとする金銭的支援など、多様なものが寄せられています。

そこで、本小冊子では、少しでも皆さんの役に立てるよう、様々な内容にしてあります。

日本で就職した先輩たちの体験記も入っていますので、是非活用してください！

目 次

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 学生生活の基本
（充実した生活をつくる7項目） | ・・・1 |
| 2 | 留学生が日本で就職活動する際に潜むリスクの芽 | ・・・5 |
| 3 | キャリア支援課から留学生の皆さんへ
（日本で就職活動を行うにあたって） | ・・・8 |
| 4 | 先輩留学生たちの就職活動体験記 | ・・・17 |
| 5 | 取得が必要な資格について
（N1、J.TEST、BJT ビジネス日本語能力テスト 等） | ・・・24 |
| 6 | 留学生にとって知っておくべき法律知識
（在留資格変更 等） | ・・・26 |

1 学生生活の基本

(充実した生活をつくる7項目)

留学生生活を充実させて過ごすには、次の7項目について自分なりの視点を決め、取り組むことが必要になります。これらを充実させることが、大学生活、そしてその後の自分の進路に関わるリスクに対する予防、マネジメントになります。

(1) 勉強・ゼミ

留学生の本分は、言うまでもなく勉強であり、しっかり単位を取得しないと卒業できません。学科によって多少の違いはありますが、1年生は教養ゼミナールを通じて少人数ゼミを体験します。学科によっては1年生から専門コースに分かれ、専門科目に取り組むことになります。3年生になると本格的なゼミ活動に入り、4年生では卒業論文の製作に取り組みます。1・2年生の間は学部共通科目や学科基礎科目を学ぶことが、3年生以降の専門課程へ進むための準備期間にもなっています。ゼミは大学生活における勉強面での重要な位置を占めます。ゼミ活動は、学問を通じて自分の視野を広げるとともに専門性を深め、またサークル活動やアルバイトなどとは別に、勉強等を元に一生を通じての友人をつくる意義もあります。多様な価値観やものの見方も学べますし、ゼミによっては将来の進路に直結もしています。社会に入ると、「同期は力」ということを実感します。ゼミ仲間をはじめ、同期の存在は、社会人になった後大きな助けになったりしますので、大切にしましょう。

日本語能力向上のためには、各種の国際交流イベントに参加したり、学内の語学サークルに飛び込むなどして日本人との交流を積極的に行いましょう。日本語のTVをたくさん見ることも有効です。

(2) クラブ活動・サークル活動

クラブ活動やサークル活動は、もちろんやらなければいけないということはありません。

大学生活は高校までとは違い、全てが自分の選択であり、自己責任となります。好きなスポーツや趣味があり、それを一人でなく仲間と一緒にやったほうが楽しい、という場合は迷わず参加すると良いでしょう。日本語のコミュニケーション能力をはじめ、リーダーシップやフォロワーシップ、忍耐力や根性など、様々な力も獲得できるでしょう。もし途中で続かなくなったり、人間関係で退部したとしても、大学生活の一時期、ひとつのことに取り組んだ事実は消えませんし、誇りに思えば良いでしょう。留学生にとっては、交友関係が広がる良い機会です。もしやりたいサークルがなかったら、自分で作ってしまうこともありますね。就職活動対策として3年生になってサークルを友達と急に立ち上げることもありでしょう。

(3) アルバイト

アルバイトは、社会体験ができる大変良い機会です。大学のキャンパスから離れ、現実の社会を知り、同時代を生きる大学以外の様々な人々と接触できるチャンスです。留学生にとって、学費や生活費のためにアルバイトを行う必要がある方も多いと思いますが、日本語能力向上と人脈作りのためにも有効ですね。社会人の厳しさを学ぶ機会にもなるでしょう。社会常識やビジネス・マナーなどが自然に身につきます。母国語を日本人に教えるアルバイトもあります。ただし、アルバイト中心になりすぎて授業を欠席したり（深夜アルバイトは時給も良く魅力的ですが、夜勤明けの睡眠不足から1限必修科目をいつの間にか出席できなくなって単位を落とした、というリスク）すると本末転倒ですのでくれぐれも留意しましょう。

(4) 資格

留学時代は、日本語関係だけでない様々な資格を取るための絶好の時期です。集中して時間が取れますので、社会人と違い、取得に有利です。保健医療学科の皆さんのように、今後のキャリアに直結する国家試験資格取得等を目指している方、就職に有利な資格を目指す方、趣味の資格を楽しみながら取得していく方など、資格取得の動機は多種多様でしょう。

特に、危機管理学部では、1年生・2年生の必修授業を受けることで防災士受験資格が取得できます。留学生の皆さんも、積極的に取得しています。防災士は

民間資格ですが、社会的な認知もニーズも高い資格であり、危機管理学部生の証でもありますので、是非取得しておきましょう。

また、留学生も頑張れば取得でき、就職活動上有利な資格に、秘書検定資格があります。男性女性に関係なく、試験勉強を行うそのプロセス自体が大変有益です。秘書検定合格者に対しては、採用試験を行う企業側も「この学生は最低限のビジネスマナーは持っている」と認識します。もちろん例えば秘書検定 2 級や 1 級を持っているから採用されやすい、というわけではありませんが、留学生の場合は、必ず一目置かれます。

また、TOEIC（英語）も出来るだけ早い時期に「試しに」受けてみましょう。以後、「目標 4 5 0 点」「目標 6 0 0 点」「目標 7 3 0 点」といったようにレベルアップを目指しましょう。

（5）ボランティア

人を助けたい人が集う千葉科学大学では、ボランティア活動は大きな意義を持っています。ボランティア活動は、一般に「自発性・主体性」「無償性」「公益性」等の本質を有していますが、ボランティア活動を行うことで多様な価値観に遭遇し新たな自分を発見したり、社会貢献をしているという満足感を得たり、活動を通して人と人との連帯感を得たり、生きがいに繋がるなど、様々な精神的報酬を得ることができます。無償ボランティアではありませんが、福祉施設等で有給で働くことを通じて、社会貢献する方法もあります。

日本では、阪神・淡路大震災の時、多くの若者がボランティアとして神戸に自発的に集まり、以降、1995 年は日本でのボランティア元年とされました。若い力がこの社会を変えていく一例でもありましょう。東日本大震災後、被災地支援を積極的に行った本学の某留学生は、それも大変評価され、大変倍率の高い奨学制度に合格した例もあります。

（6）旅行・読書・趣味

大学生活の特権のひとつは、長期休暇があることです。夏休みも春休みも 2 カ月近くあります。ただし、単位修得試験の結果次第では、追試験や再試験で実質休める期間が減ってしまいますので、リスクマネジメントとしても、しっかり単位は落とさないことが求められます。また、決してカンニングをしてはい

けません。1回カンニングをするとその試験期間の修得単位が全て無効、即日停学になり、費用も時間も大きな無駄になります。せっかくの留学がその時点で終わり、退学し、帰国することもあります。

せっかくの日本生活、お金を貯めたり（ヒッチハイクなどもあるでしょう）出来るだけ時間をみつけ、旅行やあるいは活字の上で想像力を高める読書を通じて、日本文化と日本社会をよく知り、人間力を増した留学生になって母国との懸け橋になってください。

(7) インターンシップ

インターンシップとは、就業体験のことであり、就職する前に実際の企業で仕事を体験できる制度です。目的が違いますのでアルバイトとは違い、無給です。在学中に企業組織等で就業体験を受けることにより、大学での学問の実践化と個々の学生の就職とのミスマッチが生じることを防ぐ目的もあります。近年は採用直結型のインターンシップも増えており、そこでは仕事を通じたテーマが与えられて問題解決能力を試されたり、グループコミュニケーション力を見られたりしますが、インターンシップでの成績優秀者には入社試験免除の特権を与えられるなど、実質的な採用試験として人気が出ています。

学生にとっては、実際の仕事に参画することで自分がやりたい仕事がより具体化されますし、逆に業務をしているときの楽しくない自分を発見し、自分の求める仕事は別にあることが判明することもあります。あるいは自分自身が社会人になるために不足していることを、正面から突きつけられてしまい、凹んでしまうこともあります。インターンシップを通じて他大学の学生、留学生とも知り合えますので、就職活動時の貴重な情報源、あるいは同志として一緒に頑張れたなど、有益な機会だったという声もあります。

一方、企業にとっても、インターンシップを通じて学生の考え方に触れられたり、採用に繋がられたり、学生の新たな視点により自社の改善点を指摘してもらえることがあるなど、メリットが多々あるため、受け入れ企業も大変増加しています。インターンシップは、3年生の夏に行うのが一般的なイメージですが、受け入れ企業によっては1年生・2年生からでもOKですし、1年を通じて行っている場合もあります。キャリア支援課からの情報以外に、自分でインターネット等で探して積極的に体験することをお勧めします。

2 留学生が日本で就職活動する際に潜む

リスクの芽

フェーズ0

自己分析/業界研究/インターンシップ

CHECK! リスクの芽①

アルバイト、勉強、サークル活動の配分を見直しましょう。3年生の夏休みは、インターンシップも多数行われます。留学生も受け入れていますので、ここで社会人のイメージ作りをしましょう。3年生の科目「インターンシップ」は是非履修・受講してください。日本で働くかを問わず、日本の社会を直接経験できます。

CHECK! リスクの芽②

リクナビ、マイナビなどの就職支援会社がインターネット上で企業説明会のエントリー（申し込み）ができるサイトを開き始めるのが12月頃です。しかし！これらのサイトに出ている企業は、超有名企業や大企業ばかりです。決してエントリーすることに惑わされてはいけません。特に留学生の場合は、留学生採用をしているかどうかのチェックが大事ですし、大企業の場合は相当の競争になることを覚悟しましょう。日本語能力N1、ビジネス日本語能力試験の修得は必須です。

フェーズ1

エントリー/合同企業説明会

CHECK! リスクの芽③

合同企業説明会とは、多数の企業が大会場で一堂に集まり、企業紹介を受けることができる場です。千葉科学大学では、企業側が本学までお越しいただく合同企業説明会を11月頃に行いますが、東京等で行われる合同企業説明会に一切参加しない学生が多数見られます。多様な他大学の学生が一堂に集まる合同企業説明会には、

勉学の合間をうまくスケジュール調整して、とにかく早い段階で是非一度参加してください。他大学の学生の真剣さに触れたり、その場で他大学の学生と知り合うことで就職情報の交換ができるようになったり、様々なメリットがあります。

ただ、人波の多さで酔ってしまい、圧倒されて自信をなくすこともあるので、事前に注意しておきましょう。留学生向けの合同企業説明会は多数実施されています。本学キャリア支援課やグローバルセンターに頻繁に顔を出し、最新情報をたくさん入手してください。

フェーズⅡ 個別企業説明会

CHECK! リスクの芽④

OB・OG 訪問は、早めに開始することが必要です。千葉科学大学はまだ新しい大学であり、留学生で日本企業に就職した学生は、そんなに多くはありません。しかし、一旦本学留学生を採用した企業からは、必ず良い評価をもらっています。そうした企業の先輩たちに気楽に会うことで、先輩留学生の活躍の様子を実感し、社会人の意識付けが早い段階から身につきます。面接で重要な身だしなみ、マナーを先輩たちを通じて学ぶことができます。先輩の話は積極的に話を聞きに行くようにしましょう♪

フェーズⅢ E S (書類審査)

CHECK! リスクの芽⑤

E S (エントリーシート) は、まさに自分を売り込むための道具です。見合いで言えば釣書ですね。ここでは字が汚くても誠実に丁寧に書くこと、意欲を示すこと、書くべき種をたくさん3年生の夏までに仕込んでおくことなどが必須です。日頃の授業で課されるレポートにしっかり取り組み、日本語の新聞をふだんからよく読んでいると、それらは文面に自ずと表れ、人事部はひと目でそれを見抜きます。1・2年生のうちから、「普段の不断の努力が大切」であることを認識しておきましょう！

フェーズⅣ 筆記試験/適性検査

CHECK! リスクの芽⑥

日本では、留学生に対しても、日本人学生同様、適性検査やSPI（知能検査みたいなもの）は、必ず実施されます。とにかく経験、練習、練習のみです。数的処理や空間把握の問題で差が出ます。中学の数学の教科書が良いですから、まず早い段階で復習することが突破に繋がります。

フェーズⅤ 個別面接/最終面接

CHECK! リスクの芽⑦

いよいよ面接です。ここでは、自分のアピールばかりに夢中になって、面接官の質問者の意図を取り違えたり、グループ面接で他の人の話を聞いていなかったために落ちるケースなど、多発しています。まず「傾聴」、相手の言うことを良く聞くこと。普段の生活でも友達や先生の話をよく聞くことが、そのまま面接対策になります。

フェーズⅥ 内定～承諾

CHECK! リスクの芽⑧

就職が決まった！ところが単位の計算を間違えて、なんと1科目足りなくて留年してしまった！本当の話です。理想は、3年生前期までに卒論を残し、卒業単位を全部取ってしまうことですが、それには1年次からの計画性が必要になります。携帯メモに頼るのではなく、是非早い段階から紙の「手帳」や「スケジュール帳」を持つようにしてください。留学生は慣れない外国での生活、そして学費を稼ぐのに忙しいなど、どうしても単位を落としがちです。日本人で仲の良い友人を早くから作り、WIN=WINの関係で頑張っ乗り越えましょう。

3 キャリア支援課から留学生の皆さんへ

(日本で就職活動を行うにあたって)

留学生の皆さんが日本で就職活動を行うにあたり、参考になるとと思われる事項を簡単にまとめたものです。

この資料が就職活動に役立ち、優秀な留学生の皆さんが一人でも多く日本国内で就職してくれることを願っています。

内定獲得に向け頑張ってくださいね！

◎就職活動の際、心がけるべき点

- ・就職活動は大学3年生から始めても早すぎることはありません。日本の採用慣行では、大学3年生の時点で、会社の採用説明会に参加することが一般的であり、大学2年生の時点から、会社の採用説明会に参加することも珍しくありません。
- ・日本の会社は、終身雇用を前提とし、ゼネラリストを採用する傾向にあるので、この点に留意しましょう。
- ・日本の会社は、従業員同士の協調性を大切にしており、仕事ができるだけでなく、職場で日本人社員とうまくコミュニケーションを取れるような人材を採用する傾向にあります。
- ・母国語と日本語が話せるだけでは、内定をもらうことは難しいので、日本語能力の向上に努めましょう。
- ・日本で就職するか、母国に帰るか、自分の気持ちをはっきりさせてから就職活動を行いましょう。

◎千葉科学大学でのガイダンスや、業界セミナー、会社の説明会への参加

- ・できるだけ、大学で開催する留学生向けガイダンスに参加しましょう。就職活動の際に留意すべき点やマナー等を学ぶことができます。学内で実施する業界セミナーや、合同企業説明会にも積極的に参加しましょう。実際に会社の話聞くことにより、自分が何に興味があるのかがはっきりします。

◎入管手続きについて

- ・留学生が日本で就職する場合には、現在の「留学」の在留資格を「技術・人文知識・国際業務」等の就労可能な在留資格に変更する必要があります（このような在留資格で働くことのできる仕事での就職を目指すことが必要です）。
入管の手続きについて普段から確認しておきましょう。
- ・万が一、在学中に就職が決まらない場合にも、在留資格を「(就職活動継続のための) 特定活動」に切り替えることにより、卒業後も最長で1年間は、日本に滞在して就職活動をすることができます。

(注1) 会社情報の収集方法について

- ・会社の事業内容等の概要を、ホームページ等で予め調べていきましょう。
- ・キャリア支援課のホームページから、本学に届いている「求人検索」ができますので利用してください。
なお、検索の仕方は次のページに手順を載せていますので、ご覧ください。
積極的に利用してください。
- ・資料請求の際は、挨拶、自己紹介、連絡先を伝えることを忘れないようにしましょう。

(注2) 就職活動の際の留意点、マナーについて

○メールエントリー、履歴書の送付

- ・メールエントリー、履歴書の送付の時点から選考が始まっています。文書は慎重に書きましょう。
- ・履歴書を送付する場合には、自筆で丁寧に書き、写真は必ず貼付しましょう。また、簡単な手紙（送付状）を一緒に送りましょう。
- ・自分の良いところを書くのは大切ですが、日本の場合、例えば「自分は完璧な人間である。」と書くと、かえって会社の印象を悪くするので、そういうふうには書くことはやめましょう。

○電話

- ・ゆっくり、はっきり話しましょう。
- ・電話する時間帯に配慮しましょう。早朝や、深夜は避けましょう。

- ・電話で話す内容は、予め簡潔にまとめておきましょう。
- ・自己紹介、要件、お礼の順で話しましょう。

○会社説明会、面接

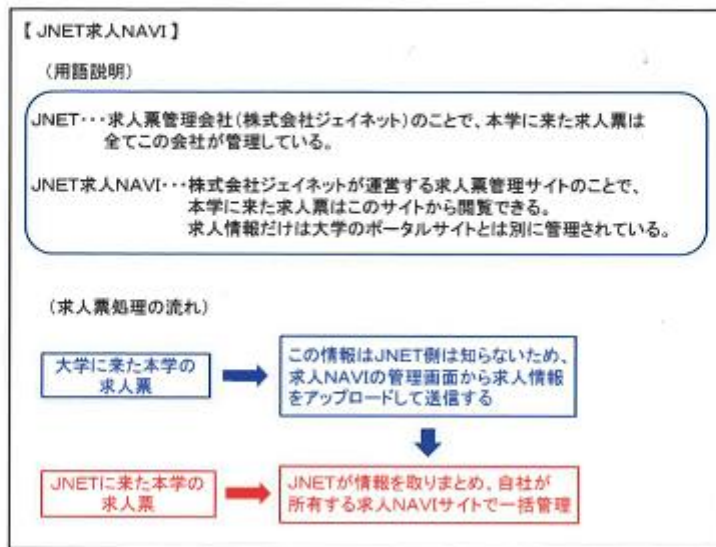
【マナー】

- ・スーツを着用することが基本であり、派手な服装や髪形は避けましょう。
- ・指定された時間の10分前に到着するようにしましょう。
- ・挨拶、自己紹介を忘れないようにしましょう。
- ・面接の際に給料の話を書くことはやめましょう。給料の額については、予め会社のホームページ等で調べておきましょう。
- ・面接の無断キャンセルは絶対にやめましょう。自分だけでなく、留学生全体の評価が下がり、後輩の留学生に迷惑をかけることになります。

【受け答えの際の留意点】

- ・あらかじめ想定される質問の答えを考えておきましょう。また、筆記試験の練習をしておきましょう。
- ・質問の意味を正確に理解してから答えましょう。分からないときは質問の意味を訪ねましょう。
- ・なんでその会社に入りたいのかを、きちんと説明できるようにしておきましょう。単に、有名な会社だからといった理由では、内定をもらうことは困難です。

求人NAVI 使用手順 1

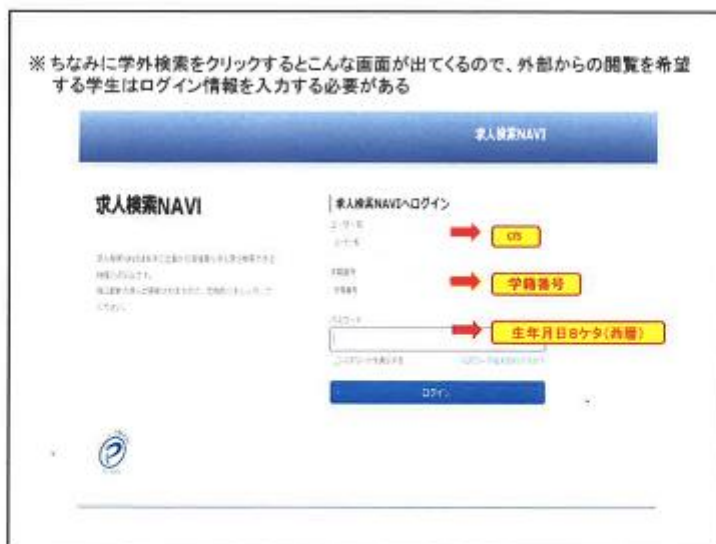


求人NAVI 使用手順 2

③ 学内から閲覧する場合は左側の「学内検索」(ユーザー名・パスワード必要なし)をクリックする。学生(3年・5年以上)が外部から閲覧する場合は「学外検索」(ユーザー名、学籍番号、パスワードの入力が必要)をクリックする。



※ ちなみに学外検索をクリックするとこんな画面が出てくるので、外部からの閲覧を希望する学生はログイン情報を入力する必要がある



求人NAV I 使用手順 3

④ 「求人を検索する」をクリックする

The screenshot shows a web interface for job searching. At the top left, there is a 'ログイン' (Login) button. Below it, a large blue button labeled '求人検索する' (Search for jobs) is highlighted with a red rectangular box. To the left of this button are two smaller buttons: 'マイ求人管理画面へ' (Go to my job management screen) and '求人(グループ) 検索予約' (Job (group) search reservation). To the right are three buttons: '企業登録・変更' (Company registration/change), '利用規約' (Terms of use), and 'パスワード再入力' (Re-enter password). Below these buttons is a text input field labeled '全てのキーワード' (All keywords).

⑤ 該当する卒業年度を選択する

「2024卒」を選択する。3月以降に選択できるようになります。

The screenshot shows the '求人検索' (Job Search) page with various filters. At the top, there are buttons for '求人検索NAV I' and '検索リセット'. Below these are sections for '求人種別' (Job type) and '求人検索' (Job search). The '求人対象卒年' (Target graduation year) section is highlighted with a red box. It contains two radio button options: '2024卒' (Selected) and '2025卒'. Below the radio buttons, there is a small red error message: 'この条件は、この条件と重複して指定できません。' (This condition cannot be specified together with this condition).

求人NAVI 使用手順4

⑥ 下に検索条件が出てくるので、希望する条件を選択して一番下の検索開始ボタンをクリックする



⑦ 条件に該当する求人票の一覧が出てくるので、閲覧を希望する求人票の下部にある「企業詳細へ」をクリックする



求人NAVI 使用手順5

⑧ 企業詳細情報が出てくるので、「この企業の求人票を見る」をクリックし、詳しい求人票の内容画面に飛ぶ



⑨ 求人票の内容が出てくるので閲覧後、必要であれば右上の「印刷用の画面へ」をクリックする



求人NAV I 使用手順 6



4 先輩留学生たちの就職活動体験記

ここでは、2012年度に日本企業に就職した、本学危機管理学部の先輩2人の体験記を紹介しましょう。

まず、アパレル系商社に内定した女性の後輩に贈るメッセージです。

<K. Rさん：中国出身> 2013年3月卒業

項目ごとに、示します。

(1) 就職活動全般を通しての意見など

自分自身を見つめ直す絶好のチャンスでした。

(2) 学生生活を送る心構え

大学では教えてくれないことを自ら積極的に学ぶ姿勢が何より大切であり、自己成長にもつながって最終的には良い結果が得られると思います。

(3) 就職先の志望動機は

①グローバルな環境で働きながら自分が持っている言語力を活かせる仕事に就くのが夢でしたので、まずは海外事業を積極的に展開している会社を中心に就職活動をしました。

沢山のグローバルな会社の中でも、風通しがよく、若手社員がバリバリと活躍できる社風にあこがれてしまい、志望させていただきました。

②就職活動の軸を社会貢献と自己成長において活動をしました。

自分がしたい仕事をしながら、社会に貢献できるということはとても魅力的なことであり、やりがいのあることだと思います。また、企業理念とビジョンが自分の価値観と夢に一致して、この会社なら自分がしたい仕事を楽しく自分らしくイキイキとできると思い志望させていただきました。

③最後に、海外市場開拓事業にとっても興味があったため志望しました。留学で身に着けた語学力とコミュニケーション能力を活かせる最高の職場環境だと思いました。

(4) 筆記試験対策はどうしたか

筆記試験はしっかり勉強ができず、ほぼ落とされましたので、特に・・・(笑)

ただ、受けてみて感じたことは何点かありますが、筆記試験は日頃の積み重ねです。文系の学生さんたちは早いうちから理系の勉強をしっかりとしておくといいでしょう。なぜならば、筆記試験では、日本人の学生もよくわからない日本語の問題がたくさん出ますので、日頃から日本語に力を入れておくと、必ず良い結果が待っていると思いますよ。

筆記試験には一般常識問題もあるので、新聞を読む習慣などを身に着けるように心がけると良いと思います。

筆記試験で落とされてしまうと次に進めないなので、しっかり勉強しましょう。

(5) 面接対策は

面接対策は、とにかく笑顔です！！

面接では、第一印象が全てを決めるほど大事なので、とにかく笑顔で、面接の最初から最後まで頑張りましょう。

個人の対策としては、大学のキャリア支援課とハローワークにも模擬面接をしていただきました。

あとは、面接も「慣れ」ですので、とにかくたくさん本番を踏んで経験を積んでからまた、そこから自分の弱い点と強い点を分析して次に活かせるのも良いと思います。

私の場合は、面接ノートを作って帰りの電車の中で自己分析をしましたが、今振り返ってみるとこれが大変役に立ったと思います。

(6) どんな心構えで就職活動したか

入りたい会社に出会った際は、絶対この会社に入ってやろうという気持ちで就職活動に臨みました。

あとは、常に10年後、20年後になりたい自分をイメージしながら、こういう人になるためには、今何からやるべきか、私が本当にやりたいことは何か？などについてたくさん悩んでいるうちに先が少しずつ見えてきました。見えてきたらあとは努力するほかありませんね。

(7) 日本の企業に就職するための秘訣

日本企業も、外資系も、みんな一番「素の自分」で一步ずつ進むと会社の側も分かってくれると思います。

どんな企業でも、普段の自分を100%出せるように頑張ってください。

(8) 学生生活でこれだけはやっておいたほうが良いこと

①特に留学生の方には、ぜひ日本語の能力向上に努力を惜しまないでほしいと思います。学生時代から、日本人学生との交流をしっかり持って日本語の能力を高めましょう。

②様々な活動に積極的に参加することもお勧めします。たくさんの出会いの中で、私たちは自分を知ることができ、成長していくと思いますので、皆さんもぜひこれからのすべての出会いを大切にしてほしいです。

最後に、就職活動は自分との長い戦いなので、周りに流されず、自分が納得できる会社に就職できるまで、あきらめず頑張ってください！頑張っているうちに夢は実現します。

就職活動で頑張っている留学生の皆さんのことを応援しています。

次は、ある面で、大変厳しい意見、辛口の表現と内容ですが、まさに日本語で呼ぶ「本音」の内容です。皆さん、しっかり読み取ってください。

< E.Iさん：韓国出身 > 2012年3月卒業（日本のIT関連企業）

1 就職するまで

私も実は就職ができなくて苦しんでいた就活生でした。

私は今、日本でIT関連の仕事をしています。

大学3年生の後半から就職活動を始めましたが、外国からの、さらに銚子というこの地方での就職活動は容易ではありません。

今、全世界的に経済状況が非常に悪く、私の就職活動をしていた2010 - 2011年も違わなかった。日本人も就職が難しいほどの就業率に絶望して、就職セミナーや就職説明会があるたびに東京や大阪などの中心地域に行かなければならないプレッシャーは現地での就職を断念する方向に持っていきました。

そんな中、3.11地震で私は韓国に一時戻らざるを得なくなり、韓国で卒業論文の準備とアルバイト、就職活動を並行しました。就職活動とはいえ、きちんと履歴書の書き方さえ知らなかったし、人々と出会い、様々な情報を共有することができる会も多かったが、面倒だという理由と内向的な性格で、ずっと一人で準備しようと思いました。

卒業論文を書き、アルバイトに行き、就職活動といい、インターネットサーフィンするなど、毎日同じ日々を過ごして結局、大学を卒業してからも内定もらったところはなく、一步遅れて改心した私はその時から履歴書の書き方、面接に関するヒントなど、本格的な就職活動を始めました。このときから行きたい会社を選んで履歴書を書くというよりは、まず多くの会社にエントリーをして連絡が来るところはとにかく面接に参加することにしました。しかし、このような、分野に関係なく、多くの会社の面接に参加することが私にとってすごく役に立ちました。職種は違うだろうが、すべての会社で根本的にが学生に望んでいることは何なのかを学んで、面接に応じる良い姿勢も身につけるようになりました。

卒業後、半年が過ぎて、下半期が始まるころ今の会社（日本企業）の内定をいただき、韓国内で約2ヶ月半の研修を受けて、日本に来ました。大学の専攻とは関連も、実は最初はそんなに興味もなかったITの分野でありましたが、技術を身につけることで、他のところでも使われるのではないかという気持ちで飛び込むことにしまして、今頑張っています。

2 学生の時こんなことしておいて欲しいこと

<英語の勉強は基本中の基本>

韓国は誰もがよく知っているように、大学入試から就職まで激しい競争の中で生きています。論述の実力から何ヶ国語を話せる、若い年齢でも海外のあちこちを回って多くの経験をするなど、就職のために生きていくと言っても過言ではないほどです。その中で10人中10人全員が気にしているのが英語です。

韓国はまず、英語の点数や外国からの留学など目で確認できるもので、人を判断します。そのため韓国人たちのスペックはどんどんすごくなる傾向です。しかし、日本は韓国に比べると書類上のものより実質的に会社に必要な能力を要求します。もっと現実的だと見ることができますが、このような傾向もまた

ます変わって行っているのです、日本での就職も英語が堪能な方であれば就職活動をする上での選択の幅が広がりそうです。

<旅行に行ってみよう>

“社会人になったらお金もたくさん儲けることができるから、こういうこともしてあんなこともしなくちゃ”という思いをたくさんすることになります。私もこのような物思いに浸っていたりしたし、素敵なキャリアウーマンになって潤沢な生活を送ることができるだろうという思いもありました。

しかし、現実はそうではありません。まず、給与から異なりますが、日本での給与から差し引かれる税金の額は相当な金額です。世界各国の中で日本より税金が多く取られる国もあり、より少なく取られると思いますが、とにかく日本で仕事をする以上、日本の税金制度について勉強する必要があると思われます。

前の話に戻って、20万円を給与で得られるとして20万円に相当する税金を出して、生活するのに必要なお金を差し引いたら、手元に貯蓄可能な金額はそれほど多くありません。

また、学生時代と違い、時間的余裕もなくなりますが、有給休暇については、会社に申請をして許可を受ければ休むことができます。私は仕事の場所を例に挙げると、チームで仕事をしているので、チームメンバーと重ならないように休まなければならないので、チームメンバーのスケジュールまでチェックする必要になる場合も生じます。

そのため、学生生活時代は、アルバイトをすることで、お金を貯め、時間的な余裕もあるときは、アルコール、タバコなどの遊興的なものより「旅行すること」を絶対お勧めします。旅行は休息と一緒に皆さんの見聞を広げてくれる良い機会になると思います。

<今の学校生活を振り返ってみよう>

自ら今までの学校生活について振り返りましょう。私の場合は、大学4年の間に学校で受給できる奨学金を受けるために授業には必ず出席し、聞き取れない部分があれば先生を訪ねて聞いてみるなど、授業への参与を怠ることないよう一生懸命努力してきました。このような姿勢は、先生や知人らに良い評価を得ることができたとし、奨学金も受けることになり、両親にも誇れる娘になり

ました。

学校生活は勉強だけではないという人々がいます。もちろん友達との関係を継続させ、クラブ活動に積極的に参加をすることも学校生活の良い活用と思われれます。しかし、そういうことを言えるのは勉強と遊び、これが両立できる人だと思います。

大学は、自ら選択してきたものであり、この選択は、将来のための基本となるもので、決してクラブ活動や友達との遊興や関係継続の場が第一となることはありません。つまり、皆さんが日本の大学に進学をした理由の順序を常に考えてみたらということです。

たまに、寝坊して遅刻をしても何も言わない先生がいて、出席チェックもしない先生もいます。“何も言わないから大丈夫。試験だけよく見るといいんだ、まあ。”という考えで学校に通うつもりなら、今からでも大学をやめたほうがいいと思います。

先生たちはそれを知らないのではなく関心がないから、そのままにしています。分からないだろうと思って何でも大まかにする、皆さんのそのような態度が先生たちの関心を離れさせ、結局皆さん自身が損をすることになっています。

そんな考えで大学に通っていたら、あなたに残るのは何ですか？お金の無駄、時間の無駄。せっかくお金を出して通っている大学、自由に通える大学、そこもまともに通わない人が、どうして、お金をもらいながら通う厳格な会社に勤務することができるのでしょうか。通うことができるはずがない。今からでも遅くはありません。今からでも変えてください。いくらでも変わることができます。

3 就職活動において、常に留意しておくべきこと

<何とかなるだろう。が一番危険である>

就職セミナーや就職説明会に行ってみても、実際に感じられるのではないという友達があります。多くの媒体を通じて就職難と聞いても“ああそうなんだ”と、まるで自分のコトじゃないように感じることもたくさんあると思います。“多くの会社の中、まさか私一人行くところないだろうか？”とってしまうと、就職活動はそこで止まります。

企業というのは利益の創出を最大の目標に動くところです。企業は人を採用することで、より多くの利益を追求しています。そのために採用する人がいな

いと思われる場合、採用しません。“ここでも大まかに選んで採用しよう。”という考えは絶対しないということです。就職活動での勝利条件は何より積極的であり、どれだけ忙しく動くかです。

<就職活動は終わりがなし>

終わりなしに駆けて企業に内定を受けた場合。“ああ、もう終わった。”と喜んではられません。その職種が自分と合う分野なのか、柱が頑丈な会社なのかから給料を受け取るとき税金はどのくらい取られるのか（前にも話したが）、住宅補助金が出るのかなどの福利厚生の部分までよく確かめてみなければなりません。仕事の部分から生活的な部分まで徹底的に研究しなければならないという話です。

会社に通ったら気に入らない、あるいは大変だという漠然とした理由だけで“辞めて再度、探してみよう。”と決心する時期もくるかもしれません。しかし、辞めて他の仕事を探すということは、今あなたが直面している就職活動をしないおさなければならないという話です。現実的に考えれば、新入社員で入ることではなく、キャリアを持った転職者になってしまうため、企業が必要とする条件がより厳しくなるからです。そのために今内定を受けたとしても、入社前には、企業に対して多くの勉強をしなければということです。

4 終わりに

この文を読んでいるほとんどは留学生だと思います。私は他国での生活が大変だということを誰よりもよく知っていますし、外国人という理由だけで目に見えない多くの差別のようなことを経験したようにも思います。しかし、それらの差別に押されておじけづくのではなく、より多くの努力をし、それらを飛び越えてください。また、それだけの自分の小さな行動一つ一つが自分の国を代表することになることも念頭に置いてください。

私は就職手記を書くような、大した努力をしたというわけではありません。しかし、たいしたことはない普通の留学生である分、この文章を読む人々にとってある程度は共感できる内容だと思います。特技一つなく、すべての分野で等しく優れたわけでもないですが、就職ができ、現在仕事をしています。私のように、皆さんもできると思います。就職という大きな壁にぶつかるために自分を強く育てていってください。

5 取得が必要な資格について

(N1、J.TEST、BJT ビジネス日本語能力テスト 等)

■日本企業が留学生に求める日本語能力について

日本企業が留学生を採用する際に求める日本語能力についてですが、「ビジネスレベルの日本語能力」を採用条件とする傾向が強くなっています。独立行政法人労働政策研究・研修機構が厚生労働省の委託を受けて、2009年6月に実施した「日本企業における留学生の就労に関する調査」によると、最も多いのは「報告書やビジネスレターなどの文書を作成できるレベル」が68.8%、次いで「ビジネス上のやり取りができるレベル」が26.2%です。このことから、全体の95%の企業が日常会話程度を超えるレベルの日本語能力を求めていることが分かります。

報告書やビジネスレターなどの文書を作成できるレベル	68.8%
ビジネス上のやり取りができるレベル	26.2%
簡単な日常会話ができるレベル	3.1%
日本語はほとんど必要ない	0.1%
無回答	1.7%

独立行政法人労働政策研究・研修機構「日本企業における留学生の就労に関する調査（2009年6月）」より

■日本語能力試験N1を取得しよう

一般的に、日本での就職に際して現在目安とされている日本語レベルは、日本語能力試験N1（旧1級）です。日本語の読み書きが十分にでき、企業が求める「ビジネスレベルの日本語能力」を証明するには、少なくとも日本語能力試験N1を取得しておくことが必要です。就職活動を有利に進めるためにも、3年生の秋までに取得しておくことが望ましいでしょう。また、日本語能力試験以外にもBJTビジネス日本語能力テストや、J.TEST実用日本語検定などの結果を、日本語能力を測る指標にしている企業もあります。みなさん、ぜひチャ

レンジしてみてください。

[○日本語能力試験 J L P T http://www.jlpt.jp/](http://www.jlpt.jp/)

[○B J T ビジネス日本語能力テスト http://www.kanken.or.jp/bjt/](http://www.kanken.or.jp/bjt/)

[○J . T E S T 実用日本語検定 http://j-test.jp/](http://j-test.jp/)

6 留学生にとって知っておくべき法律知識

(在留資格変更 等)

■「留学」から就労可能な在留資格変更について（就職先が決まった場合）

日本の大学を卒業する外国人留学生が日本国内で就労しようとする場合、入管法上、いわゆる単純労働には就けないことになっています。外国人留学生は就労のため、現在の在留資格である「留学」から「技術・人文知識・国際業務」という在留資格に変更しなければなりません。この在留資格は就労の内容を次のように制限しています。まず、大学で専攻した科目が、従事しようとする業務に必要な知識や技術に関連しているかどうかが問われます。（ただし、大学については関連性が緩やかに判断されます。）大学を卒業すると、母国語の翻訳、通訳、語学指導は、大学の専攻に関係なく従事することができます。また、コンピュータ技術関連は、法務大臣告示で定められた情報処理技術の試験に合格又は資格を持っていれば大学の専攻や卒業の有無に関係なく従事することができます。

この在留資格に該当しなければ、せっかく企業等から採用通知や内定通知を受け取っても、就労できない可能性がありますので十分注意してください。さらに、以下にも述べますが、昨今、入管は企業をカテゴリー別に分類し、問題のない企業等に対して提出すべき申請資料を大幅に省略することなども実施しています。在留資格の変更手続きは、1 2月から可能で、審査は1～3ヶ月必要ですので、就職内定が出たら早めにグローバルセンター又は学生課で必要な手続き方法に関する説明を受けてください。

●手続きの流れ

1 2月～1月ぐらい	必要書類を携えて出入国在留管理局へ行き、ビザの変更手続きをする
2月～3月ぐらい	就労ビザがおりる
4月	就労開始

● 「技術・人文知識・国際業務」へ変更する際の必要書類

必要書類は大きく分けて、

【A】留学生本人が準備・作成する書類と、

【B】就職予定先の企業・法人等に準備・作成してもらう書類があります。

なお、下記の★カテゴリー①～⑧に該当する企業・法人等に就職予定の場合は、原則として下記の（１）～（３）の書類を提出するだけです。その場合は、「四季報」*の写し又は日本の証券取引所に上場していることを証明する文書（写し）等が必要になります。

該当しない企業・法人等に就職予定の場合は、（４）～（１２）の書類について提出する必要があります。

*）四季報：全上場企業を網羅した企業情報誌

★カテゴリー

- ①日本の証券取引所に上場している企業
- ②保険業を営む相互会社
- ③日本又は外国の国・地方公共団体
- ④独立行政法人
- ⑤特殊法人・認可法人
- ⑥日本の国・地方公共団体認可の公益法人
- ⑦法人税法別表第１に掲げる公共法人
- ⑧前年分の給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表中、給与所得の源泉徴収合計表の源泉徴収税額が1,000万円以上ある団体・個人

【A】留学生本人が準備・作成する書類

（１）在留資格変更許可申請書（所定様式）

※申請書は学生課にもありますが、出入国在留管理庁のホームページ上でも取得が可能です。

<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2-1.html>

（２）写真（縦4 cm×横3 cm） 1 葉

（３）パスポート及び在留カード 提示

↑ (1)～(3) はいずれの企業・法人等に就職予定の場合でも必要

↓ (4)～(12) は★カテゴリー①～⑧に該当する場合は、原則として不要

(4) 成績証明書 1通

(5) 卒業証明書 1通

※申請時期の関係から卒業証明書が提出できない場合は、代わりに卒業見込み証明書を提出する必要があります。この場合も卒業証明書は、発行された時点で直ちに提出しなければなりません。

(6) 履歴書（任意様式） 1通

※これまでの学歴及び職歴について正確に記載してください。

(7) 就労を希望する旨記載した書類（任意様式） 1通

※大学で履修した学問の内容が、就職予定先の企業・法人等で活かせることを強調することがポイントです。

【B】就職予定先の企業・法人等に準備・作成してもらう書類

企業・法人等で準備してもらい、申請時に提出の必要がある書類は、就職を予定する企業・法人等の規模や職種、源泉徴収税額等により異なります。

まずは、本学のグローバルセンター又は学生課、就職予定先の企業・法人等の人事担当者に相談してみると良いでしょう。

ただ、下記に挙げた必要書類は、いずれの企業・法人等へ就職予定でも役に立つものですので、参考にしてください。

(8) 申請人の活動内容等を明らかにする書類

①労働契約を結ぶ場合：職務内容・報酬などの労働条件が明示された書類（雇用契約書等）

②役員等に就任する場合：地位や報酬額などを明らかにする書類

(9) 登記事項証明書

(10) 事業内容を明らかにする次のいずれかの資料

①勤務先等の沿革、役員、組織、事業内容（主要取引先・取引実績を含む）等が詳細に記載された案内書（会社案内、パンフレット等）

②その他の勤務先等の作成した上記①に準ずる文書

- (1 1) 直近年度の決算文書の写し（貸借対照表、損益計算書を含む）
- (1 2) 納税関係証明書（前年分の職員給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表（受付印のあるものの写し）又は同表を提出できない理由を明らかにする資料）

★特記事項

証明書は全て、発行日から3ヶ月以内のものを提出しなければなりません。

■「留学」から「(就職活動継続のための)特定活動」への在留資格変更について（卒業後も就職活動を行う場合）

卒業までに就職が決まらなかった場合でも、所定の条件を満たせば、卒業後も引き続き日本に在留して就職活動を継続できる制度があります。また、「(就職活動継続のための)特定活動」の在留資格の在留期間は6ヶ月間で、一度だけ更新が認められるため、最長で1年間になります。

「(就職活動継続のための)特定活動」への在留資格変更を希望する学生は、早めにグローバルセンター又は学生課に相談しましょう。

●「(就職活動継続のための)特定活動」へ変更する際の必要書類

- (1) 在留資格変更許可申請書（所定様式）

※申請書は学生課にもありますが、出入国在留管理庁のホームページ上でも取得が可能です。

<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2-1.html>

- (2) 写真（縦4cm×横3cm） 1葉
- (3) パスポート及び在留カード 提示
- (4) 在留中の一切の経費の支弁能力を証する書類

※送金証明書や預金通帳の写し、アルバイト先の給与明細等、就職活動が維持できる能力を証明する書類の提出が求められます。

- (5) 直前まで在籍していた大学等の卒業証明書 1通
- (6) 直前まで在籍していた大学等からの推薦状 1通

※就職活動を行った形跡が認められない場合は、推薦状を出すことはできません。

(7) 継続就職活動を行っていることを明らかにする書類（就職活動記録、選考結果通知書類など）

※企業・法人等からの面接案内メール、企業・法人等の担当者とのメール交信記録、選考結果の通知書類、今後の就職活動予定表等

●「特定活動」の在留中に就職予定先が決まった場合について

就職予定先が決まった場合は、「技術・人文知識・国際業務」への在留資格変更手続きが必要になります。また、内定を得たが、次年度4月からの採用の場合、入社までの間「(内定者のための)特定活動」の在留資格で在留を続けることができます(ただし、内定先の企業・法人が出入国在留管理局に誓約書を提出した場合に限ります)が、就職活動とは活動内容が異なるので、在留資格変更許可申請の手続きをする必要があります。必要書類は次のとおりです。

- (1) 内定した企業・法人等からの採用内定通知書等、内定の事実と内定日が確認できる書類
- (2) 連絡義務等の遵守が記載された企業からの誓約書
- (3) 在留中の経費支弁能力を証明する書類
- (4) 「技術・人文知識・国際業務」等の就労を目的とした在留資格への在留資格変更許可申請書に必要な書類

★特記事項

採用までに内定先企業・法人等で研修等を行う場合、その研修等の内容を確認できる書類の提出が必要になります。

■近郊の出入国在留管理局および出張所

○東京出入国在留管理局

(管轄地域：東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県等)

所在地：〒108-8255 東京都港区港南 5-5-30

T E L : 03-5796-7111 (代表)

0570-034239 所属部署 310 (就労審査部門)

※窓口受付時間：9時～16時(土・日曜日、休日を除く)



○東京出入国在留管理局 千葉出張所 (管轄地域：千葉県)

所在地：〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 2-1

千葉中央コミュニティセンター内

T E L : 043-242-6597

※窓口受付時間：9時～16時(土・日曜日、休日を除く)

留学生のためのキャリア支援ブック

発行 令和5年3月

著者 千葉科学大学

危機管理学部

キャリア支援課

グローバルセンター

発行者 千葉科学大学

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15番地8

<http://www.cis.ac.jp/>

(本小冊子に関わる問合せ先：危機管理学部/木村栄宏)

TEL：0479-30-4751
